

**E7 秋田自動車道**きみまち阪<sup>ざか</sup>IC～北秋田今泉<sup>きたあきたいまいずみ</sup>IC間 4.5km**令和8年3月20日(金)15時に開通**

- 国土交通省が事業を進めてきました、国道7号二ツ井今泉<sup>ふたついいまいずみ</sup>道路の延長4.5kmが**令和8年3月20日(金)15時00分に開通**することとなりましたのでお知らせします。
- なお、開通後の当区間の名称は「**E7 秋田自動車道**」となり、新たなインターチェンジ名称については、「**きみまち阪<sup>ざか</sup>IC**」と「**北秋田今泉<sup>きたあきたいまいずみ</sup>IC**」に決定しましたのでお知らせします。

## &lt;今回の開通による主な整備効果&gt;

- ・道路の安全性確保
- ・産業振興・雇用拡大
- ・災害時の代替路を確保
- ・救急搬送の支援

## ■開通式典

- 1) 日時：令和8年 3月20日(金) 11時00分より
- 2) 場所：【式典会場】二ツ井町総合体育館（能代市二ツ井町字上台60）  
【通り初め会場】きみまち阪インターチェンジ（能代市二ツ井町小繫地内）
- 3) 主催：秋田県・能代市・北秋田市・国土交通省東北地方整備局
- 4) 次第：挨拶、来賓祝辞、テープカット、くす玉開披、通り初め 等

## ■ICの正式名称

- 1) (仮称)小繫IC → きみまち阪IC
- 2) (仮称)今泉IC → 北秋田今泉IC

※インターチェンジ名称については、地元自治体等の意見を反映し決定しております。

&lt;発表記者会：秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ&gt;

## 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所  
電話：0185-70-1001

副所長(道路担当) おおくぼ ひろい 大久保 広 (内線205)

工務第二課長 かわぐち ふみひろ 川口 文弘 (内線411)

E7 秋田自動車道 きみまち阪IC～北秋田今泉IC間 位置図



出典：地理院地図に道路情報等を追記して記載

■開通式典

- 1) 日時 : 令和8年3月20日(金) 11時00分～
- 2) 場所 : 【式典会場】二ツ井町総合体育館 (能代市二ツ井町字上台60)  
【通り初め会場】きみまち阪インターチェンジ  
(能代市二ツ井町小繫地内)
- 3) 主催 : 秋田県・能代市・北秋田市・国土交通省東北地方整備局

※今回開通する区間は、自動車専用道路となりますので歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行できません。  
 ※開通待ちの路上駐車は、通行の妨げになりますので、ご遠慮願います。  
 ※報道関係の方は、「別紙：取材申込書」にて事前申込みをお願いします。  
 ※報道関係の方は、「別添：案内図」をご参照下さい。

「**E7** 秋田自動車道（きみまち阪 IC～北秋田今泉 IC 間）開通式」  
取材申込書

式典会場及び通り初め会場の駐車場は台数に限りがございます。

取材を希望される報道機関は、以下の必要事項を記入の上、メールまたは FAX の送付をお願いします。後日、駐車券を送付いたします。

**【メール又は FAX 送付期限：3月6日(金) 16時】**

1. 会 社 名 \_\_\_\_\_
2. ご 氏 名 \_\_\_\_\_  
(代表者のみ)
3. 連 絡 先 TEL \_\_\_\_\_  
Mail \_\_\_\_\_
4. 人 数 (代表者含む) \_\_\_\_\_ 名
5. 駐車台数・場所 式典会場 要 ・ 不 ( 台 )  
通り初め会場 要 ・ 不 ( 台 )

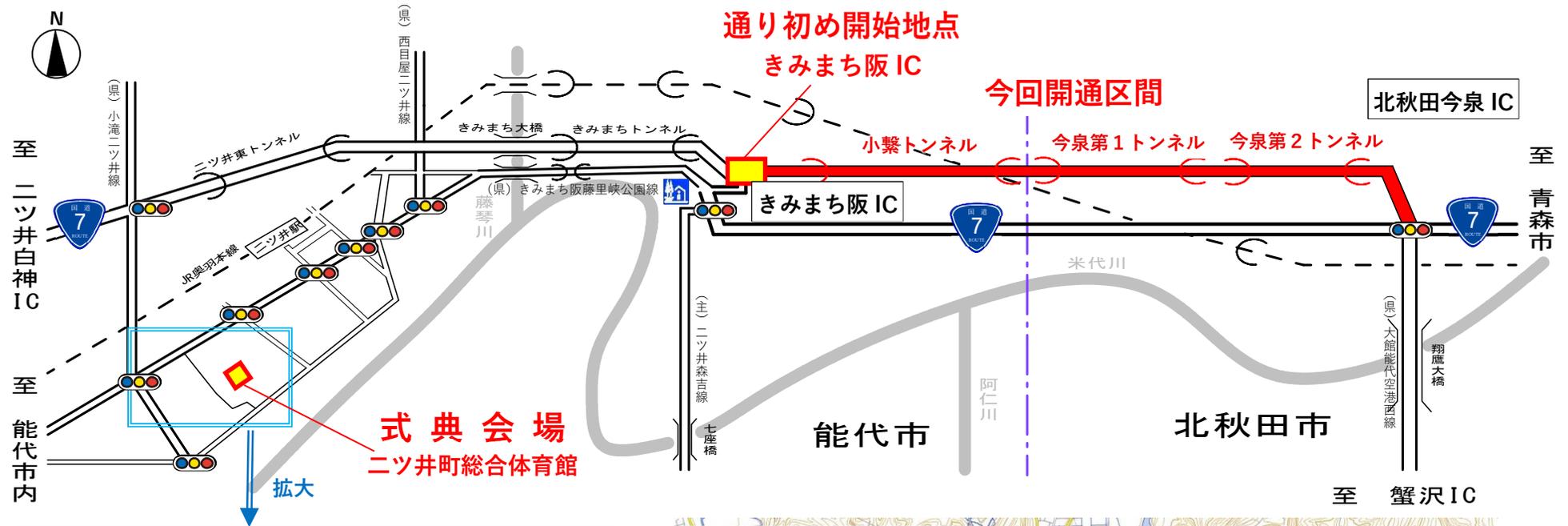
※こちらから連絡をさせていただく場合がありますので、連絡の取れる電話番号をご記入ください。

<送付先>

東北地方整備局 能代河川国道事務所 総務課 行き
M a i l thr-753soumu@ki.mlit.go.jp
F A X 0 1 8 5 - 7 0 - 1 1 1 8

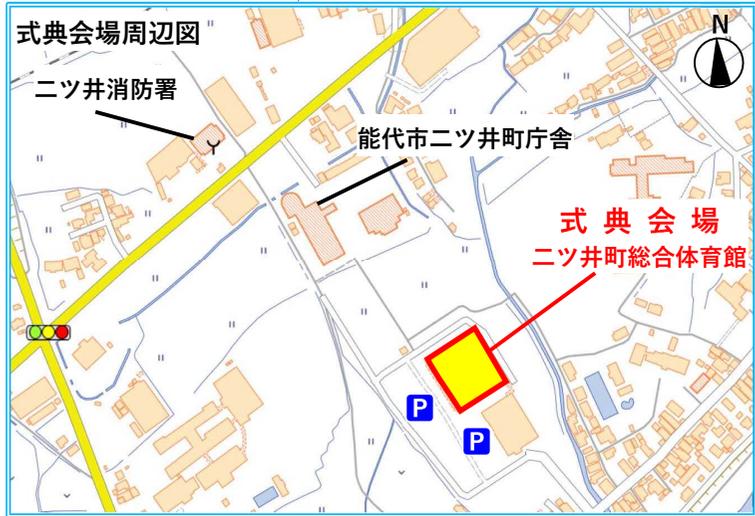
# 案内図

別添



式典会場  
ニツ井町総合体育館

拡大



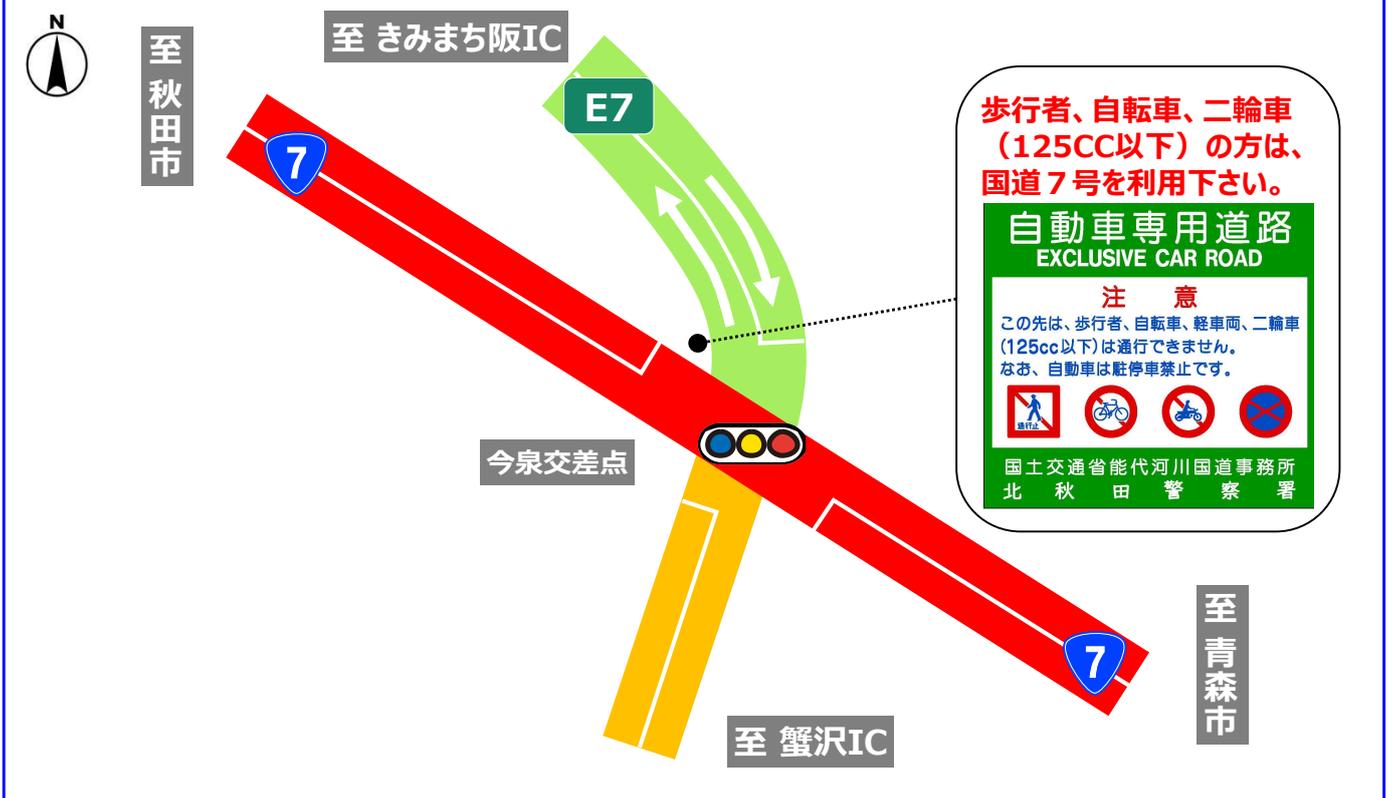
出典：地理院地図に道路情報等を追記して記載



# きみまち阪IC側拡大図



# 北秋田今泉IC側拡大図



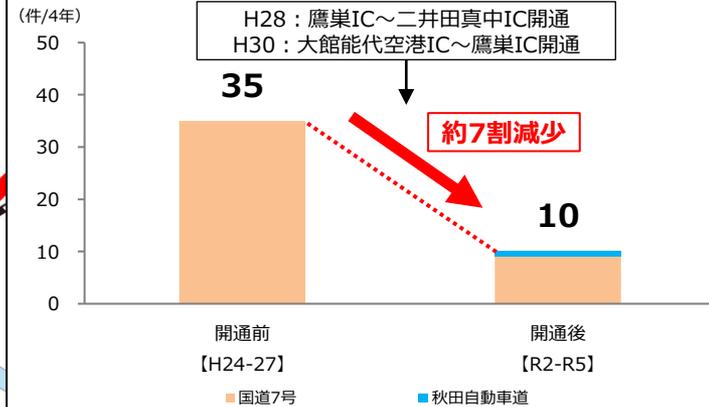
# 安全な交通環境を確保

- ・二ツ井今泉道路の現道区間には事故危険箇所が3箇所あり、通常期は交差点部での追突、冬期はカーブ区間での正面衝突が多く発生。冬期は積雪・凍結路面での事故が多く、死傷事故率は通常期に比べ約3割増加。
- ・平成28・30年開通区間および並行する国道7号では、開通前後で事故件数が約7割減少。
- ・今回の開通により、交差点部・カーブ区間、積雪・凍結路面での事故リスクが軽減し、安全な交通環境を確保。

▼二ツ井今泉道路・現道区間における冬期の正面衝突発生状況

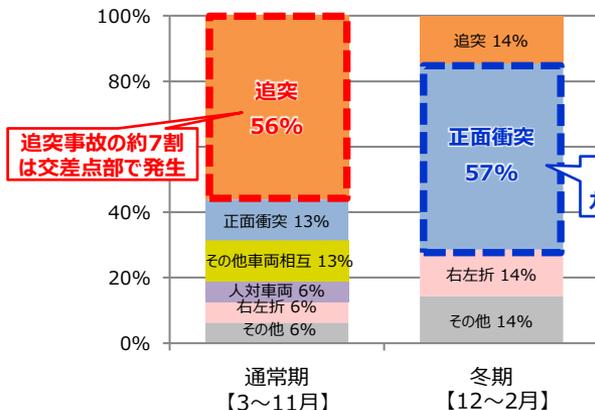


▼H28・30開通区間の開通前後における国道7号・秋田自動車道の事故件数の変化

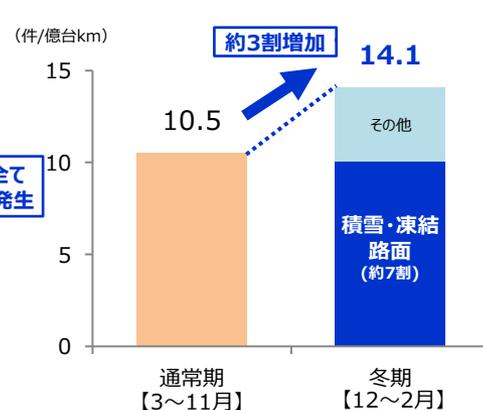


資料：イタルデータ  
 ※秋田自動車道・H28・30開通区間(大館能代空港IC～二井真中IC)と並行する国道7号現道(緩子交差点～川口交差点)を対象に集計。

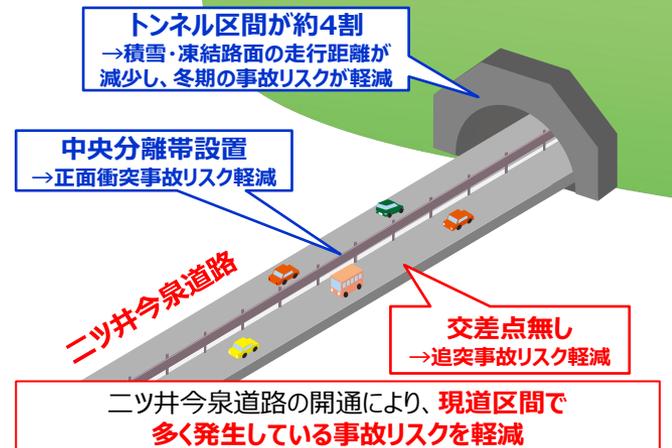
▼現道区間における事故タイプの比較



▼現道区間における死傷事故率の比較



▼二ツ井今泉道路開通による事故リスク軽減イメージ

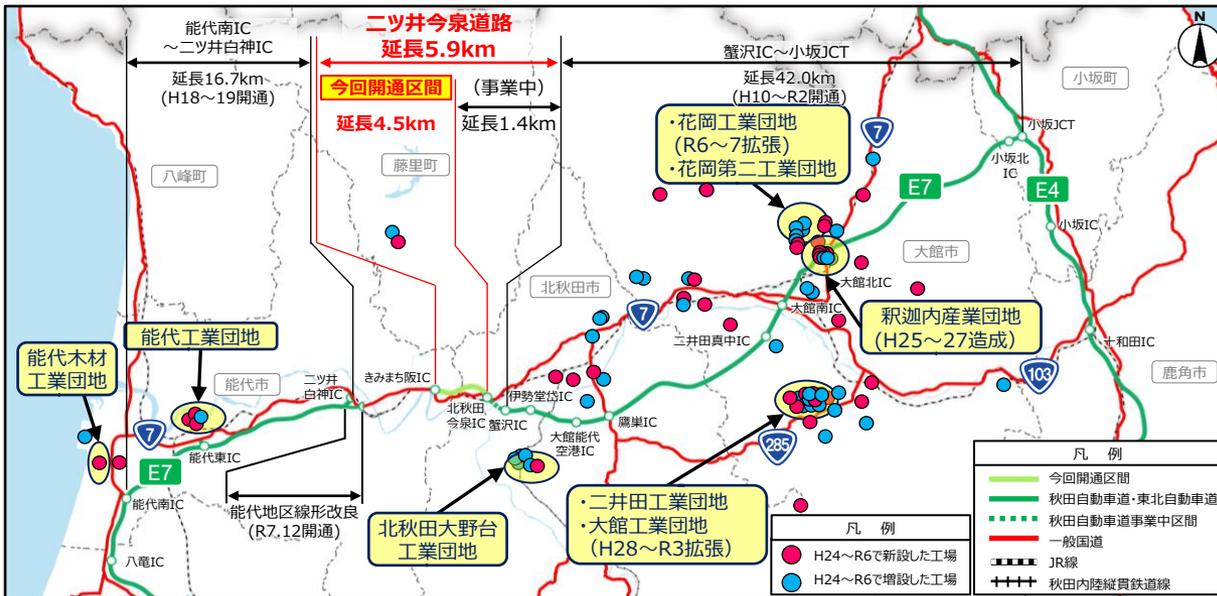


資料(正面衝突発生箇所・事故類型・死傷事故率)：イタルデータ (H25-R5)  
 ※きみまち阪交差点(きみまち阪IC)～蟹沢IC間の現道を対象に集計。  
 ※事故類型は小数点以下2桁目を四捨五入して表示しているため、合計が100%にならない場合がある。

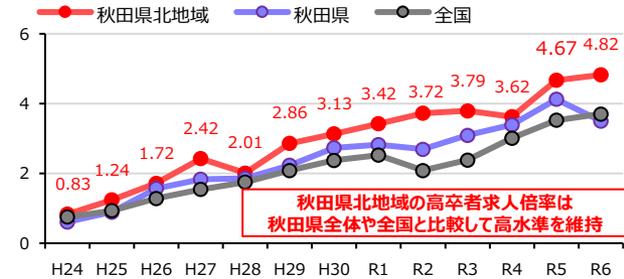
# 企業立地・新規雇用を支援

- ・秋田県北地域では、秋田自動車道の開通に伴い、企業の新設・増設が進み、多くの新規雇用者数を創出しており、高卒者求人倍率は高水準を維持。
- ・秋田自動車道利用企業の約9割がこれまでの開通による効果を実感。うち約6割が通勤利便性の向上・改善効果を実感。
- ・今回の開通により、県北地域への企業立地や新規雇用を支援。

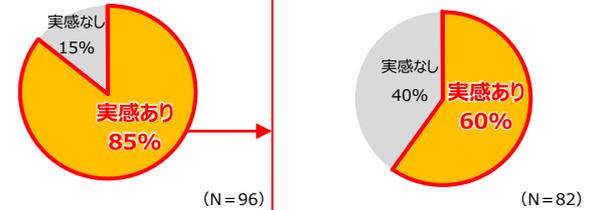
▼秋田自動車道沿線の工業団地・新設・増設工場の分布



▼高卒者求人倍率の推移



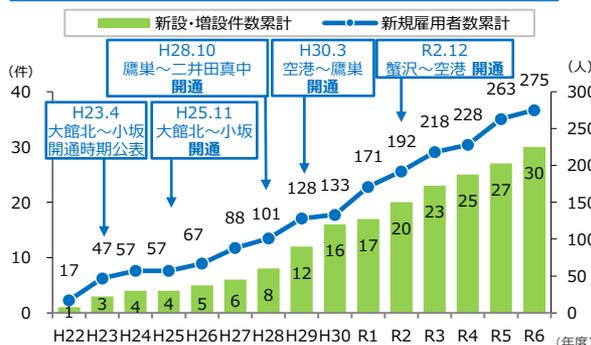
▼これまでの秋田自動車道開通による効果の実感度



資料：道路利用に関するアンケート調査結果（R5.8-9）  
※対象企業の条件は以下のとおり。  
・業種：農林水産業、製造業、卸売業、小売業、運輸業・従業員数：10名以上  
・対象市町村：八峰町、能代市、上小阿仁村、三種町、藤里町、北秋田市、大館市、鹿角市、小坂町

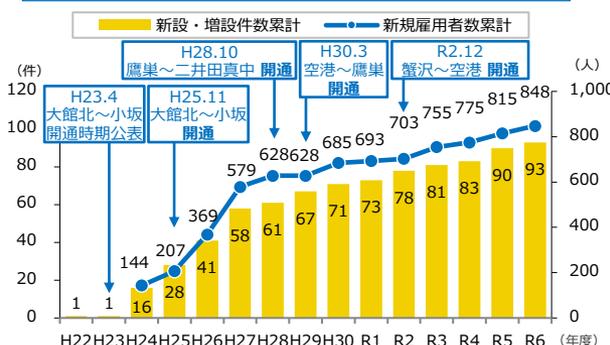
▼北秋田市の新設・増設件数と新規雇用者数の推移

30工場が新増設 275名の雇用創出  
延べ92億円の投資（H22～R6）



▼大館市の新設増設件数と新規雇用者数の推移

93工場が新増設 848名の雇用創出  
延べ1,232億円の投資（H24～R6）



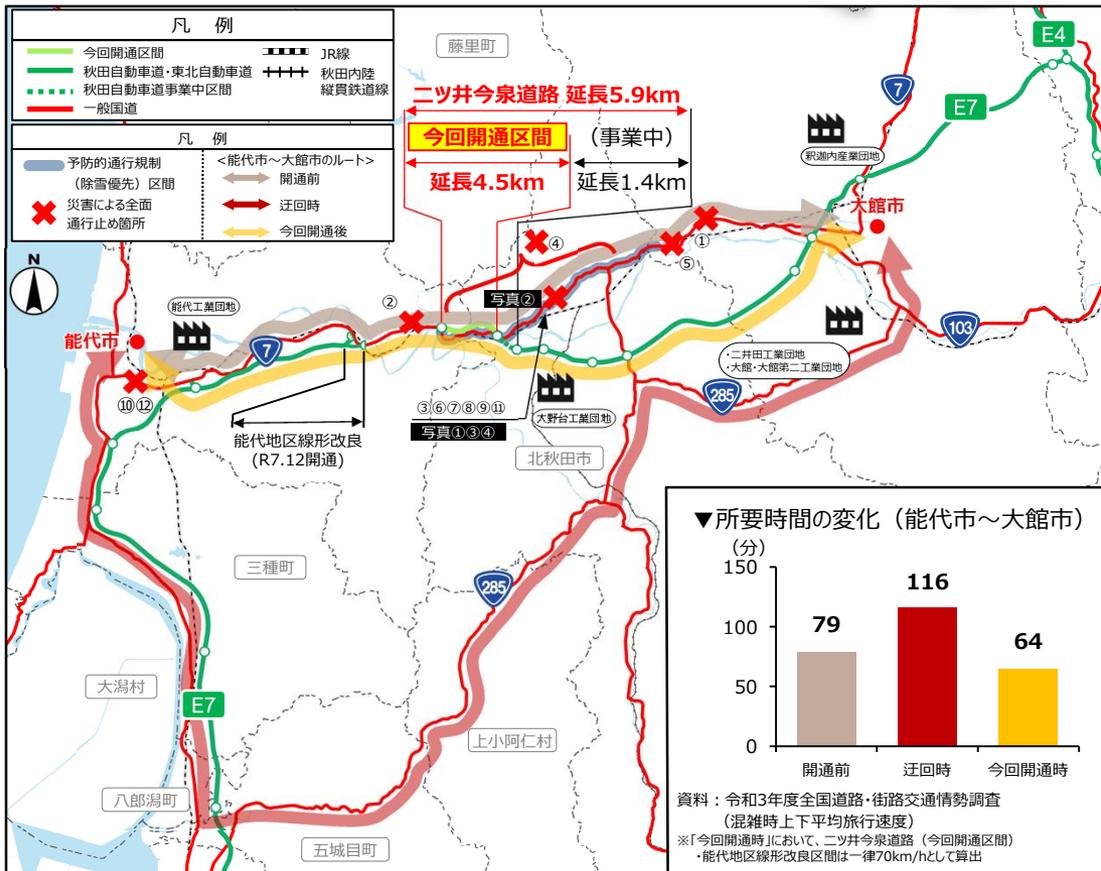
《大館市内企業の声》

- 秋田自動車道の開通により、**北秋田市からの通勤の利便性向上のほか、能代市から通勤が可能と、新卒採用の応募や工場見学も増えている。**開通により、**通勤圏の拡大や利便性向上に繋がる**と期待している。（R1.12、R3.8ヒアリング結果）
- 雇用を確保する上で、道路ネットワークの整備により、**秋田市からの通勤、人口流出を抑えられるなど、地域のメリット**となる。（R6.1ヒアリング結果）

# 災害時における代替性を確保

- ・国道7号(能代市～大館市)は、第1次緊急輸送道路に指定されているが、過去20年で災害による全面通行止めが12件発生しており、令和7年9月においても豪雨による全面通行止めが発生。
- ・二ツ井今泉道路の現道や秋田自動車道の未開通区間には迂回路がなく、国道7号の通行止め時に広域迂回が発生。
- ・今回の開通により、現道区間の災害時における代替性を確保。

▼国道7号の全面通行止め箇所および迂回ルート（能代市～大館市）



▼国道7号（能代市～大館市間）の災害による全面通行止め履歴

No.	発生日月	規制要因
①	H19.9.18	降雨による河川水位上昇
②	H21.7.19	大雨による二ツ井東トンネルの漏水
③	H23.8.17	大雨による土砂流入
④	H24.1.30	予防的通行規制による除雪、大雪によるスタック発生
⑤	H25.8.9	局地的大雨による河川水位上昇
⑥	H25.9.16	台風18号による冠水
⑦	R4.8.3	大雨による冠水
⑧	R4.8.10	大雨による冠水
⑨	R5.7.15	大雨による路面冠水
⑩	R5.7.16	大雨による路面冠水
⑪	R7.9.2	大雨による路面冠水
⑫	R7.9.2	大雨による路面冠水



H23.8 大雨による土砂流入 (北秋田市綴子地区)



H24.1 大雪によるスタック発生状況 (北秋田市坊沢地区)



R4.8(写真③)、R7.9(写真④) 大雨による冠水状況 (北秋田市綴子地区)



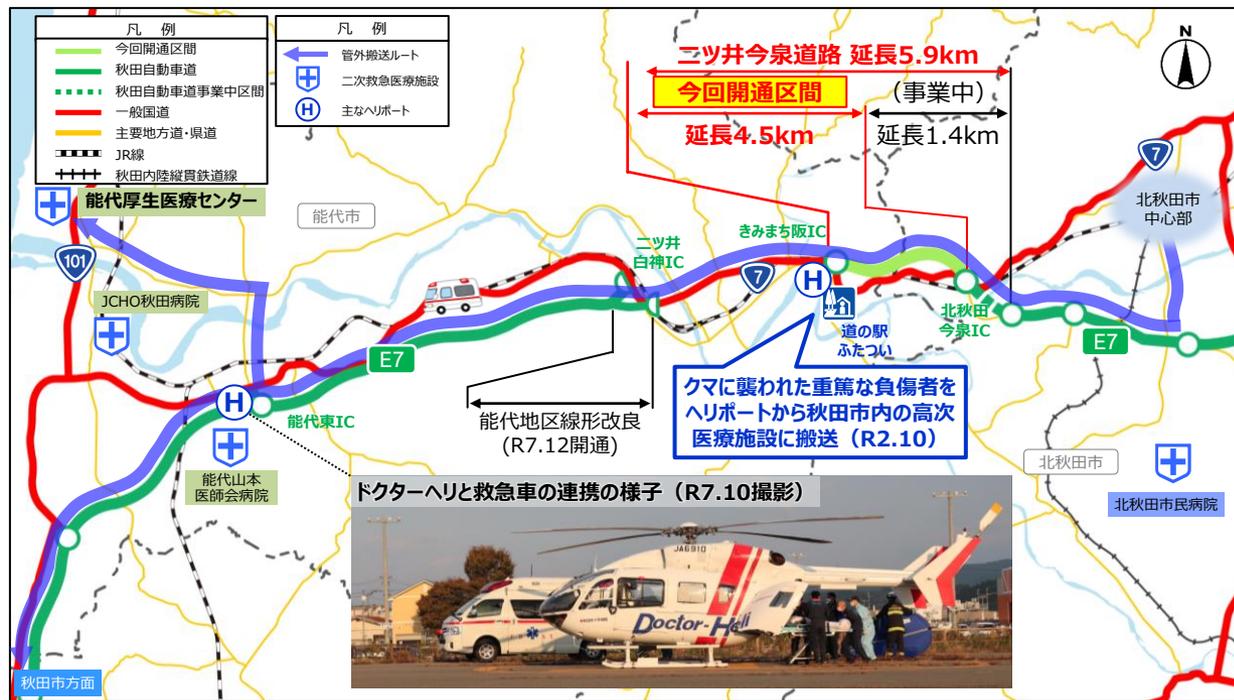
## 《消防・周辺企業の声》

- ・多数の傷病者発生時では、管内外で相互に**応援対応**しており、**広域連携・防災面**でも秋田自動車道の開通による効果は大きい。  
(R7.9 北秋田市消防本部ヒアリング結果)
- ・ダブルネットワークの形成により、秋田自動車道通行止め時も**迂回路が確保**でき、**農産物をより安定して消費者のもとに届ける**ことができる。  
(R7.9 農業関係者ヒアリング結果)

# 迅速かつ安定した救急搬送を支援

- 北秋田市消防本部では、管外搬送件数のうち、約4割が能代・秋田方面の病院へ搬送。特に搬送が多い能代厚生医療センターは、一刻を争う脳疾患の搬送が最多。
- 秋田市方面には、状況に応じてIC近傍や道の駅ふたついのヘリポートを活用したドクターヘリと救急車のドッキングにより搬送。
- 今回の開通により、時間短縮やドクターヘリとの連携強化が図られ、迅速かつ安定した救急搬送を支援。

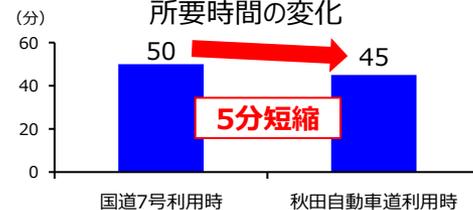
▼北秋田市からの管外搬送ルート・ヘリポートからの搬送事例



▼秋田自動車道とヘリポートを活用した搬送イメージ

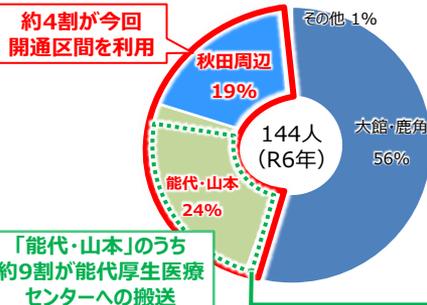


▼北秋田市中心部～能代厚生医療センターの所要時間の变化

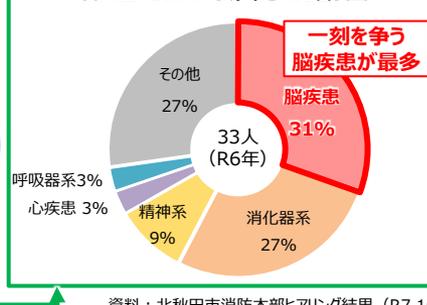


資料：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査（混雑時上下平均旅行速度）  
 ※「国道7号利用時」：北秋田今泉IC～能代東ICで国道7号を利用するルート  
 ※「秋田自動車道利用時」：ニツ井今泉道路（今回開通区間）、ニツ井白神IC～能代東IC間  
 ※秋田自動車道を利用するルート（ニツ井今泉道路・能代地区線形改良区間は一律70km/hとして算出）

▼北秋田市消防本部の管外搬送先割合



▼能代厚生医療センターへの搬送における疾患別割合



## 《救急隊員の声》

- 秋田自動車道を利用して、能代・秋田方面への管外搬送を行っている。医療圏が再編され搬送先の選択肢が拡大し、**直接搬送することも増える**と想定される。
- 救急活動において、より**迅速な高次医療施設への搬送は不可欠**である。その選択肢として、**ドクターヘリとのドッキング**、新設ICでのドクターカーとのドッキングも想定される。
- 時間短縮や現道のカーブ区間の回避により、**迅速な搬送が可能となり、傷病者や救急隊員への負担軽減**に繋がる。

(R7.9 ヒアリング)

